

静脈注射Ⅲ-a

～安全で確かな静脈注射を身に付けよう～

新卒者が「静脈注射Ⅲ-a」を受講しました。事前に、各部署で末梢静脈留置針を安全に挿入するための知識・技術に関するDVDを視聴し、実技演習に臨みました。研修者が患者役、看護師役となり、患者への説明、刺入部位の選択、静脈留置針の刺入・固定・抜針の一連の流れを行いました。

看護職キャリア支援教育担当が演習を担当しました。当院採用の安全装置付き静脈留置針「ネクシーバ」と、上肢のモデル「トレーニングアームキット」を用いて実践しました。



穿刺では、「プッシュタブを前方に押し進める」「フィンガーグリップを引き抜く」ことに難しさを感じていましたが、2回の実践でイメージをつけることができました。刺入部が中央になるようドレッシング剤を貼付し、患者の生活動作を考へながら二次固定を行っていました。

点滴の投与開始まで実施し、キョクイファイナルチェックや滴下速度の計算などについても再確認しました。皮膚と水平方向に引っ張ることを意識しながらドレッシング剤をはがし、留置針が動かないように注意しながら抜針していました。



研修者同士で実際に血管に触れて、適切な刺入部位を考えました。ひとりひとり血管の走行や太さ、触れやすさの違いがあることを実感していました。

～研修後、各部署で手技の評価を行い、その後実践していきます～